

高所火災想定、素早く避難

東濃信金本店で消防訓練

東濃信用金庫が多治見市本町の本店で消防訓練を行い、勤務する約150人の職員が防災意識を高めた。

南消防署の協力で、本店ビル7階の食堂調理場から出火した想定で実施。火災報知器が鳴り、ヘルメットをかぶ



はしご車を使った救出作業訓練を見守る職員たち＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

った職員が素早く屋外駐車場に避難した。

地上約30分の屋上に残り残された女性2人を助ける訓練も行われ、はしご車を屋上まで伸ばし消防士が救出する様子を見守った。

救出された営業部の松田友里さんは「怖くて下を見ないようにした。良い経験になったが、消防士のお世話になることがないよう防災意識を持って仕事をしたい」と話した。

(山本貴史)